

NIK 川北直人レポート TIMES 2017

世代をつなぐ絆をつくり、 町と笑顔と未来を守る。



- ご挨拶／平成29年度当初予算の基本方針
- 平成29年江東区政の主な新たな取り組み
- 予算審査、常任・特別委員会での主な質疑内容
- 区政活動報告会のご案内、他

ご挨拶

日頃より、地域の皆様には大変お世話になります。

いよいよ新年度がスタートしました。区議会におきましては、2月21日に平成29年第1回定例会が召集され、平成28年度最終補正予算審査特別委員会や平成29年度予算審査特別委員会、各常任・特別委員会において区政喫緊の課題についての審議を行い、去る3月30日に閉会致しました。本定例会では、新年度予算案を含む議案33件(補正予算案4件、新年度予算案4件、条例案19件、契約変更1件、人事選任同意1件、議員提出議案4件)を可決致しました。今回のレポートでは、可決した平成29年度当初予算の概要や新規事業、主な取り組みについて、また予算審査、常任・特別委員会での私の質疑内容等についてご報告をさせていただきます。



平成29年度当初予算の基本方針

『夢へカウントダウン 新たなステージへのチャレンジ予算』を可決!

平成29年度当初予算の規模は、一般会計予算1,996億42百万円、特別会計(国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療)1,037億27百万円、合計3,033億69百万円と区政史上初の3,000億円台となり、過去最大規模の当初予算編成となりました。本区が示した平成29年度予算編成に際しての基本方針は、①「2020年東京オリンピック・パラリンピック」、「50万人都市」など、区政史上類を見ない局面にあたり、これを千載一遇のチャンスとしつつ、区民ニーズに的確に responding していくため、過去や前例に捉われない斬新な発想、未来をより良いものに変えていきたいというチャレンジスピリットをもった施策を充実していく。②少数精鋭の体制においても、多様な行政課題に迅速・的確に対応していくためには、事業の優先順位を見定め、その新陳代謝を活性化させなければならない。また、社会・経済情勢における目まぐるしい変化への対応や、積み重なる後年度の事業コストなどを考慮し、短期間での終了を予定(サンセット方式)した新たな施策を積極的に取り入れ、機動性の高い行財政運営を展開していく。③税制改正や景気動向の影響を受けやすい歳入環境にあっても、後年度負担に備えた強固な財政基盤を構築するため、「江東区行財政改革計画(後期)」の着実な実施や経費節減など内部努力の徹底のほか、広告事業など職員の創意工夫による歳入確保策を推進し、持続可能で安定的な行財政運営を行う、とあります。

この基本方針に沿って編成された新年度予算案に対し、区議会予算審査特別委員会では、教育、子育て支援、介護支援、防災・防犯、まちづくりなど区政の発展に向けた各施策の拡充や、地域ごとに生じている課題への対応策や要望など、各委員より質疑が行われ、区長提案の通りに予算案を可決致しました。

平成29年度 江東区政の新たな取り組み

(可決した新年度予算の新たな取り組みの中で、主なものを抜粋してご紹介します)

防災・まちづくり

公共サイン統一化に向けたガイドラインを作成

現在、地域振興課や文化観光課がまちなかに設置している公共サイン(公共施設等案内板)は担当課ごとにデザイン等が異なっており、多言語化対応も不十分となっております。これら公共サインのデザイン統一化と多言語化を導入することで、より分かりやすい案内板へと再整備して参ります。また、歳入確保策の観点から民間広告の導入も検討して参ります。



担当課によってデザインが異なる現在の公共サイン(江東区資料より転載)

拠点避難所へクワトロトイレを導入

東日本大震災など過去の災害では、ライフラインが復旧するまでトイレに長蛇の列ができ、水分補給を控えることから体調不良になる避難者が数多くいたなど、トイレ不足が深刻化しました。拠点避難所となる全区立小・中学校に、組立式男性用小便器(クワトロトイレ)を導入し、仮設トイレと分離することで、トイレ待ち時間短縮を図り、災害発生時のトイレ問題解消を図ります。



クワトロトイレのイメージ(江東区資料より転載)

拠点避難所と観光スポットにフリーWi-Fiを整備

地域の安全・安心の確保や外国人を含む来訪者の利便性向上に向けた環境整備の一環として、フリーWi-Fiを整備します。災害時に避難者自ら情報収集、安否確認を行えるように、また、2020年東京五輪大会を視野に入れ、国籍を問わず多くの来訪者がよりスムーズに観光情報を得られるように導入します。

緑・環境

東京五輪会場周辺の区道に遮熱性舗装を実施

夏季に開催される東京五輪大会開催時の暑さ対策として、路面温度の上昇を10℃程度抑制できる遮熱性舗装を大会会場周辺の区道へ実施します。

ウミネコ被害を防止する啓発リーフレットを作成・配布

数年前から台東区や墨田区で生じていたウミネコによる被害が2年ほど前には本区内でも確認されるようになりました。鳥獣保護を定めた法律により捕獲や卵の採取が禁止されていることから、特に緑化したマンション屋上での事前対策が重要となります。リーフレットの作成・配布により、巣作りが行われる前に対策を講じるよう啓発をして参ります。



ウミネコ被害を防止する啓発リーフレット(江東区発行資料)

健康・福祉

区内21か所に地域包括支援センターを開設

平成28年度に12か所まで増やした地域包括支援センターを21か所に拡大し、高齢者約5,000人に1か所のセンターを配置する事で、高齢者が住み慣れた地域において自立した日常生活を営むことができるよう、地域の相談支援や介護予防、権利擁護などの機能強化を図ります。

子育て・教育

国家戦略特区を活用し、公園内に認可保育所を整備

区では高まり続ける保育需要に迅速に対応するため、民設民営による保育園整備を進め平成30年4月に約1,000人の定員増を図ります。その一つとして、国家戦略特区を活用し、緑豊かな都立木場公園内に認可保育所を整備します。



都立木場公園内保育所のイメージ(江東区資料より転載)

区独自のオリンピック・パラリンピック教育を推進

全市区町村で最も多くの大会会場が整備される江東区の環境を活かし、子どもたちの心に残る体験活動を中心に区独自の教育活動を実施します。オリンピック・パラリンピアンを部活動に招く「部活動☆夢応援プロジェクト」や「パナソニックセンター東京」と連携した五輪起源の学習や競技体験など、積極的な施策展開を図ります。



有明3丁目の「パナソニックセンター東京」(江東区資料より転載)

計画を前倒し、全小学校で『江東きっずクラブ』を実施

平成31年度までの全校実施計画を前倒し、平成29年度に全校実施を達成します。共働き家庭等にとっての子どもたちの放課後の居場所に対する不安解消と、学校施設を活用した多種多様な体験・活動の場を提供して参ります。



安全・安心な居場所・生活の場(江東区資料より転載)

産業・生活

高校生ジュニアリーダーを海外のボランティア先進都市に派遣

東京2020年オリンピック・パラリンピック大会では、多くのボランティアの活躍が期待されます。ジュニアリーダーとして活動している現役高校生を、ボランティア活動が盛んなアメリカオレゴン州ポートランドへ派遣し、国際感覚を養うとともにボランティア意識やコミュニケーション能力の更なる向上を図り、大会開催時のボランティアを養成します。



派遣先で現地の方と交流するイメージ(江東区資料より転載)

ことみせ登録店(飲食・物販店)の情報を英語で紹介

外国人来訪者が増加する中、メニュー等を多言語化することみせ登録店が増加しており、区が発信することみせ登録店の情報についてもお店の魅力を英語で情報提供します。



ことみせ登録店の魅力を英語で紹介するイメージ(江東区資料より転載)

予算審査、常任・特別委員会での主な質疑内容

平成29年度予算審査特別委員会

【観光政策について】

平成27年度決算審査において導入を求めた観光アプリについて、検討状況について質疑を致しました。2020年東京オリンピック・パラリンピック大会の開催を控え、国籍を問わず本区への来訪者の増加が見込まれます。区内観光スポットや飲食店の情報などをスムーズに提供できる体制づくりが求められる中、観光アプリの導入は必須と考えます。先の審査では導入に前向きな答弁であったものの、新年度予算案に計上されておらず、平成30年度予算での事業化を検討する旨の答弁がなされました。アプリ開発については、その多くが運用開始後にバージョンアップを重ねながらより利便性を向上させる事が一般的であることから、まずはアプリ運用の開始が何より重要であること、そして運用開始後に利用者の様々な声を聴いて改定を重ねることが利便性を高める上で重要であると考え、平成29年度中に補正予算を組み対応するよう要望し、2020年まであと3年と迫るなかスケジュール感を持った施策展開が必要であると主張しました。



スマートフォンで旅先の観光情報を素早く入手
(イメージ)

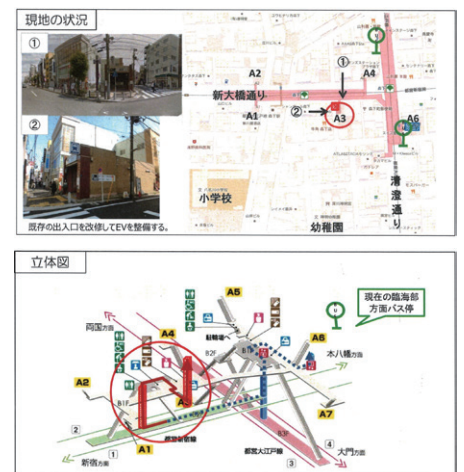
【歴史教育について】

先の大戦時期に旧日本軍が女性を性奴隷化し、その多くを強制連行したとされる誤った史実が、戦後多くの歴史家や国内メディアによって流布されました。平成26年6月に作成された河野談話作成当時の日本政府と韓国政府とのやりとりを取り纏めた政府報告書【慰安婦問題を巡る日韓間のやりとりの経緯～河野談話作成からアジア女性基金まで～(外務省HPをご参照下さい)】でも明らかですが、談話作成当時の1990年代初頭、日本政府は韓国政府より慰安婦の強制連行について認めるよう執拗に迫られますが、当時の日本政府担当者は「史実に基づかない事を認めるわけにはいかない」と断固拒否していたことが確認できます。政治的に玉虫色な解決を図ったと思われる河野談話の曖昧さが、後の公立中学校教科書検定にまで影響を与え、一時期であったとしても「先達が慰安婦を強制連行した」という大変不名誉な歴史教育が国内において施されました。次世代に対する歴史教育のあり方を考える際、最も重要なことは「客観性の高い資料に基づいた教育」であり、今後の教科書検定や図書館・学校図書館で開架する歴史書籍の取扱いについて、留意するよう要望を致しました。

オリンピック・パラリンピック推進特別委員会

【森下駅乗換経路のバリアフリー化が決定】

交通政策を所管する当委員会において、東京都交通局による森下駅のバリアフリー化が報告されました。同局は新宿線と大江戸線が交わる森下駅において、現在1ルートしかないバリアフリールート(大江戸線A6出入口のみ)について1ルート追加(新宿線側A3出入口)し、駅利便性の向上に着手します。平成29年中に工事契約し、平成31年12月に完成予定です。



新設される森下駅バリアフリールート出入口の現状と完成立体図
(委員会資料より転載)

区政活動報告会のご案内

日時：平成29年6月18日(日) 18:30
場所：ティアラこうとう B1F会議室
テーマ：区政の新規事業と喫緊の課題について

※時間、テーマは予定です。詳細は右記事務所までお問合せ下さい。

事務所のお知らせ

江東区議会きずなを守る会
江東区白河1-2-1ジョインハウスイワキ203
電話/03-5621-6288 FAX/03-5621-6266
E-mail/7010@naoto-k.com
HP <https://www.kawakitanaoto.com>
f <https://www.facebook.com/naoto.kawakita>